

企業が求める人材は
企業人が育成する

ものづくり伝承プログラム



技術者人として

- **就職した学生が企業の技術者として要求される能力**

入社後の初期ステージ

技術(技能)・専門知識

仕事への納期意識を持っている

チームの一員として、自らの役割を着実に実行できる

中堅としての高専卒業生に求められる資質

チーム全体を見渡し、進捗状況を把握できる

チーム全体の方向性を定めることができる

計画の立案・進捗状況に応じた修正ができる



2007年問題を好機と捉える

- 高い能力を持つ退職技術者等を「マイスター」として任命
専門性や、経験から本校専攻科生を教育！



マイスターのイメージ

技術(スキル)を教えよう

納期のある仕事の進め方
方ってものを教えよう

マーケティングについて
教えよう

チームとしての仕事の進め
方を教えよう

函館高専の修了生は新入社員が最初に身につけるべきことは、すでに教育されている



実施方法・テーマの選定

- 専攻科の1年後期と2年前期に実施
 - 実施テーマは地域のニーズ
- 1年では、専攻ごとに、取り組む
- 2年では、専攻を融合して取り組む

テーマをお寄せください

「時間と人手がなくて、実施できないが、将来を見越して、ちょっと試してみたいんだが...」

「この問題を防ぐにはどうしたらいいのか」

「今までやってうまくいかなかったなので、見切りをつけようと思っているのだが、新しい視点で試してもらえないか」

納期を意識して、まずは半年後に何らかの成果を出します！



マイスター登録を（マイスターの推薦を）

推薦・登録をお願いします！

- 機械加工技術、建設技術、情報処理技術、食品製造技術、生産管理技術、品質管理技術、金融など
- 登録したマイスターには、本校の規程に従い任命証を公布（特専教員制度）

今度は高い技術を教育の場で活かしてください！

やりがいあるものになると信じています！



チームの結成



成果を還元
(チームとして納期を守るのが使命)



期待する効果

専攻科修了生は、真に企業が求める人材になっている
「企業が求める専攻科修了生とはこうであるはず！」という函館高専の答え

在学時から、地域企業と関係を持って実践的に学ぶことができる

「学生 - 企業の相互理解を深める」

函館高専一期生がまさに退職をむかえます

「函館に帰って暮らそう」と考えているOBが、企業人として今度は学生を教育！

